

6. 林業普及指導

(1) 農林水産技術会議森林活用分科会における要望課題検討の採択状況

年度	要 望 課 題	区 分
平成19年度	1. 木質チップを燃料とした施設園芸の経済性に関する研究	C
	2. 有機肥料によるたけのこ栽培に関する生産技術指針の作成	A3
	3. 放置竹林の効果的な拡大防止と森林の再生	A3
	4. 県民の森を用いた森林療法プログラム実施のための森林環境づくりとコース設定の研究	A2
	5. なしのせん定枝を利用したたけのこ類の栽培技術の開発	A1
	6. サンプスギ製材品の強度及び病原菌のその後の活動について サンプスギ製材品の強度試験 非赤枯性溝腐病付着材の製品における病原菌の活動 非赤枯性溝腐病付着剤が人体に及ぼす影響	A1 A1 C
平成20年度	1. 「ビタミンB1いっぱいきのこ」栽培技術の追加試験 「ビタミンB1いっぱいきのこ」の追加施用技術開発 「ビタミンB1いっぱいきのこ」技術の「原木シイタケ」への適用	A3 A3
	2. 廃培地を使用した菌床きのこ栽培技術の開発	A3
平成21年度	1. 木質バイオマスの効率的な生産・流通システムの構築に向けた調査研究	A1
	2. 千葉県における長伐期林業の成立に向けた生産目標の設定と施業基準の策定	C, B
	3. サンプスギ心材の強度性能及び耐久性の解明	C
	4. 千葉県における放置竹林対策について	A3, A2
	5. 高齢級過密森林の管理手法と強度間伐導入基準の確立	A3
	6. マテバシイ材の活用方法とマテバシイ林管理技術の確立	A2, C, A3
	7. マテバシイ林の伐採と更新	A3
	8. 松くい虫被害に強い「抵抗性クロマツ」の選抜・育種	A2
	9. 千葉県に適した無花粉スギの育種	A1
	10. スギ非赤枯性溝腐病抵抗性クローン選抜のための早期検定技術開発	A1
	11. スギカミキリの被害対策について	A1, C
	12. スギカミキリ被害の経済的・効率的防除方法	A1
	13. 北総地域特有の地形に対応した効率的な伐採・搬出技術の開発	B
	14. ヤマビル生理生態的研究開発による効果的な防除法	C
	15. 九十九里海岸防災林におけるクロマツの代替樹種の選定等施業方法の策定	A2
	16. 在来草本種による法面緑化手法の確立	A3
平成22年度	1. 簡易なスギ溝腐病抵抗性判別技術の確立	C
	2. 非赤枯性溝腐病被害木を利用した鳥獣被害防護柵の開発	A2
	3. 害虫による菌床きのこの被害防止に関する省力的で効果的な対策方法の研究	A3, A3, C
	4. ヒメコマツの種苗生産について	A1
	5. 千葉県有保安林の維持管理手法の検討	A1, A1, A2, A3
	6. 「健康と癒しの森30選」等のセラピー効果の検証と効果的な活用方法の開発	A3, C
	7. サンプスギ材の外観的特徴の解明	C, A3, A3
	8. 千葉県における長伐期林業の成立に向けた生産目標の設定と施業基準の策定 ()	H21からの継続課題 : B A3, : B A3
	9. 北総地域特有の地形に対応した効率的な伐採・搬出技術の開発	H21からの継続課題 B C
平成23年度	1. 海岸防災林保全・整備技術の多様化	B
	2. 海岸防災林における塩害の状況把握と対策の検討	A3
	3. 里山活動の成果の検証	A3
平成24年度	1. 九十九里海岸の県有保安林における植栽後の効果的な管理方法を前提とした苗木植栽のパターン(間隔等)について	A2
	2. 放射能に汚染されたほだ木の除染方法等の確立	A2
	3. 海岸林前縁部における広葉樹を活用した海岸林造成技術の開発	A2
	4. タケノコに関する放射性セシウムの実態把握と対策の確立	A3

平成25年度	1. 接種検定済みクロマツ苗木の挿し木による生産の実用化に向けた研究	A2
	2. 未利用林地残材等の経済的・効率的搬出手法の確立及び普及	A1
	3. 海岸防災林保全・整備技術の多様化	A2
平成26年度	1. 木質バイオマス燃料(薪)によるコジェネレーションシステム(施設園芸加温システム)実証実験	C, A2
	2. マツ材線虫病激害地での防除手法及び松林復旧技術の確立	B, A3, A3, B
	3. 県産木材の利用促進に向けた試験研究	A2
	4. 特用林産物における放射性物質対策	A1
	5. マルチキャピティコンテナを用いたクロマツ苗木の生長特性の評価	A1
	6. 接種検定済みクロマツ苗の植栽後の抵抗性評価	A1
	7. 千葉県に適した雄性不稔スギ候補の作出及び選抜	A1
	8. スギ・ヒノキ・マツの細り表の作成	A3, C
	9. 当県の自然景観・植生に適合した、有用広葉樹の適地・適木の分類、リスト化	A3
平成27年度	1. マテバシイの萌芽力調査	A3
	2. スギカミキリ被害の状況調査について	A3
	3. サンプスギに似た形質を持つ非赤枯性溝腐病抵抗性品種の選抜	A2
	4. マツ材線虫病激害地での防除手法及び松林復旧技術の確立	H26からの継続課題 : B A3, : B A1
平成28年度	1. スギカミキリに対する低コストな防除法の検証	A1
	2. 低コストで省力的な造林技術の開発	A1
	3. 原木きこの栽培におけるフタモントンボキノコバエ防除法の研究	A3
	4. 千葉県に適合した短伐期で収穫できる有用な樹種の選抜、及び育林体系の研究	B, A3
平成29年度	1. 若齢クロマツへの薬剤散布開始時期及び散布量の検証	A1
	2. 放射性セシウム濃度の低い原木シイタケの安定生産技術の確立	A1
	3. 県産材の利用拡大をはかるための新たな木材流通の動向把握	A1
	4. 発生予測におけるアメダスデータと現地環境データとの差異の検証	A3
	5. マツの幼齢木の松くい虫対策	A1, A3
	6. 千葉県に適合した短伐期で収穫できる有用な樹種の選抜、及び育林体系の研究	H28からの継続課題 : B A3, : B C
平成30年度	1. ドローンを活用した森林調査システムの研究開発	A1
	2. 内陸防風保安林の機能向上に向けた植栽樹種の選定並びに施業指針の作成	A3
令和元年度	1. マテバシイ材の利用に係る調査研究	A1
	2. 木造公共建築物の長寿命化に関する研究	A1
	3. 原木栽培における原木樹種や栽培方法の違いがシイタケの放射性セシウム濃度に及ぼす影響の把握	A2
	4. イチョウの集団枯損原因の解明と対策技術の開発	A3
	5. 大径化したマテバシイ林の適切な更新方法の確立	A3
	6. コンテナ苗を植栽した林の適切な保育方法の確立	A2, A3, A3
令和2年度	1. 森林情報の収集、管理、活用に係る調査研究	A1
	2. マテバシイの集団枯損跡地の復旧方法について	A3

A1 新規課題として採用する
A3 現地において問題解決する

A2 現在実施中の研究課題で対応する
B 現地調査のうえ検討する C 新規課題として採用しない

(2) 農林総合研究センター森林研究所における令和2年度試験研究課題一覧表

生産力の強化やブランド化を推進する技術の開発

3 状況変化に対応し、生産力を支える研究の推進

12 農林作物の野生鳥獣被害軽減化技術の開発

(1) 野生鳥獣の個体数推定と適正数管理による農作物被害軽減の確立と検証

自然植生と造林木におけるシカ等による枝葉採食害及び角とぎ被害の実態把握 (R1-R3)

環境への調和や資源の維持増大に関する技術の開発

1 環境にやさしい農業を推進する研究の強化

17 安全な食料生産に寄与するリスク管理対策

(2) 農林業分野における放射性セシウムの低減対策とモニタリング調査

放射性セシウム濃度の低い原木シイタケの安定生産技術の確立(H30-R2)

2 森林の健全な育成と利用促進に向けた研究の推進

18 森林資源の持続的利用技術の開発

(1) 健全な森林の育成と木材利用促進技術の開発

千葉県に適した1年生コンテナ苗の生産技術の開発(R2-R5)

低コストで省力的な再造林技術の開発(H29-R2)

天然更新を用いた健全な森林の育成のための実生分布特性の把握(H30-R2)

サンプスギが非赤枯性溝腐病に罹りやすい要因の解明と抵抗性評価方法の検証(H30-R7)

マテバシイにおけるくん蒸薬剤によるカシノナガクイムシ駆除除去の検証(R2-R3)

未利用木質バイオマスのチップ敷設による雑草抑制効果の検証(H29-R6)

バイオマス利用を含めた木材流通状況の把握(H30-R2)

マテバシイ材利用拡大に向けた丸太の熱処理技術の開発(要望課題)(R2-R6)

県産材を活用した木造公共建築物の長寿命化に必要な維持管理に関する情報の把握

(要望課題)(R2-R8)

3 防災機能が高く、生活環境と調和する森林の造成に向けた研究の強化

19 生活環境を保全する森林造成技術の開発

(1) 海岸防災林の再生技術の確立

海岸防災林の広葉樹林化における効果的な客土方法の解明(R2-R5)

海岸防災林におけるクロマツ林造成技術の高度化(要望課題)(H28-R5)

クロマツ幼齢木に対する薬剤防除技術の確立(要望課題)(H30-R2)

千葉県由来のマツノザイセンチュウ抵抗性マツの選抜と特性把握(H30-R3)

ドローンを活用した松くい虫被害木探査技術の開発(要望課題)(R1-R3)

(2) スギ・ヒノキの花粉飛散抑制技術の開発

ジベレリン処理による雄花着生量の早期定量手法の確立(H29-R3)

ヒノキ雄花の観測による花粉飛散量予測技術の開発(R1-R5)

注) ~ ...千葉県農林水産業振興計画で定めた基本目標 1、2、3(ゴシック体)・・・小目標

(3) 森林・林業関係標準技術体系・技術指導資料

発行年	題名	標準技術体系	技術指導資料
S49	シイタケ栽培標準技術体系		
S50	サンブスギ育林標準技術体系		
S51	くり栽培標準技術体系		
S53	間伐の実行に必要な基礎資料とその解説		
S55	特用林産物生産技術指針(タケ・タケノコ編)		
S60	幕張の浜クロマツ植栽地管理技術指針		
S60	クヌギ・コナラの選抜基準		
S61	クリ栽培標準技術体系(改訂版)		
S61	私の推薦する千葉の林業		
S62	複層林造成の手引		
S63	私の選んだ千葉の林業技術および名木		
H5	マテバシイを利用したシイタケ栽培の手引き		
H9	ヤマビルの防除マニュアル		
H9	光誘引粘着捕虫器使用によるきのご害虫の防除		
H9	スギカミキリ防除マニュアル		
H10	野鳥を活用する緑地の無農薬管理		
H11	クリ栽培標準技術体系(改訂版)		
H12	千葉の新たな森づくりに向けて(非赤枯性溝腐病被害林マニュアル)		
H12	千葉県森林土壌およびその調査マニュアル		
H13	間伐技術と間伐材の利活用		
H14	千葉のヤマウド優良品種-優良品種の特性と栽培法		
H15	サンブスギ間伐手遅れ林分の管理指針		
H15	スギ花粉生産量調査マニュアル		
H17	環境保全型マツノマダラカミキリ後食防止剤による松枯れ防止効果		
H18	ビタミンB1いっぱいきのご栽培方法の手引き		
H19	サンブスギ材の強度性能		
H20	原木シイタケの害虫シイタケオオヒロズコガの被害と対策		
H21	スギとの混植によるケヤキの育成技術		
H22	イノシシからタケノコを守る 簡易電気柵と竹防護柵の設置方法		
H24	長伐期施業の進め方		
H25	森林経営のための効率的な施業技術(1) まとまった森林における効率的な作業システム		
H25	森林経営のための効率的な施業技術(2) 北総地域における小規模作業システム		
H26	これからの複層林施業		
H26	竹林拡大を防ぐ 放置竹林対策の手引き		
H27	手入れ不足のスギ、ヒノキ壮齡林の管理技術		
H27	放射性セシウム濃度の低い原木シイタケを生産するために		
H28	シイタケ原木の害虫ハラアカコブカミキリの生態と防除		
H29	クリの低樹高仕立てのせん定方法		
H30	原木シイタケ栽培におけるフタモントンボキノコバエの防除方法		
R2	マテバシイ林更新の手引き		

(4) 令和2年度林業普及指導員の活動実績

(単位：時間)

区分	普及指導活動				調査 研究	情報 収集	連絡調整		普及指導 の準備	普及関係 事務報告	研修 受講	そ の 他	計
	直接		間接 (電話等)	小 計			試験研究 ・教育機関	市町村 その他の 関係機関					
	個別 指導	集団 指導											
計	3382.91	341.75	421.64	4146.3	155.41	729.97	109.75	789.07	5,608.32	1,640.5	351.92	7,184.51	20715.75
普及対象別内訳	林家	726.33	58.83	95.22	880.38								
	会社等の事業体	388.42	12.00	33.99	434.41								
	市町村	905.84	31.25	204.52	1141.61								
	森林組合	763.41	10.75	52.24	826.4								
	林研グループ	25.5	33.25	11.59	70.34								
	その他	573.41	195.67	24.08	793.16								

注) ・平成16年度の森林法改正により、平成17年4月から従来の林業専門技術員と林業改良指導員の資格が「林業普及指導員」に一元化された。

(5) 令和2年度林業普及指導員を対象とした研修

研修の名称	目的等	対象者	人員	時期	場所	講師	研修等の内容
林業成長産業化構想技術者育成研修 (ICT)	ICT等の先端技術を活用した路線選定等による効率的かつ効果的な木材生産基盤となり得る路網計画を含む、森林の施業から木材の流通までを考慮した総合的な森づくり構想の作成に関する高度な知識・技術を有する技術者の育成。	林業事業体の職員及び林業普及指導員、市町村	1人 (1人)	R2.8.18 ~ 21	中央合同庁 庁舎4号館	鹿児島大学 ICT機器メーカー 林野庁 森林総合研究所 金山町森林組合 東京農工大学 全国LVL協会 住友林業株式会社 ノースジャパン 素材流通協同組合	・林業ICT化の意義と手法 ・新技術の機能、効果、仕組み ・ICT林業の実際 ・ICT機器等による森林現況把握 手法演習 ・路網と作業システム ・ICT等による路網設計の手法 ・ICT等による路網計画作成手法演習 ・循環的な木材生産他
放射能関係研修	特用林産における放射性セシウム濃度に関するこれまでの研究内容と今後の課題を理解し、普及指導に役立てる。	林業普及指導員他	22人 (10人)	R2.8.24	農林総合研究センター 森林研究所	森林研究所 主任上席研究員 岩澤 勝巳	特用林産における放射性セシウム濃度に関する研究成果と今後の課題

新規モデル 事業林研指 導研修(応用)	地域の森林管理の担い 手として、自伐林家組織 や専門性の高い森林整 備活動を行う NPO 等の 育成・支援を行うこと で、森林経営に適さない 森林の適正な管理を推 進するため、森林管理に 必要な知識や技能の習 得。	林業普及指 導員他	9 人 (4 人)	R2.11.22 12.5~6 12.12 ~13	かずさアカ デミア 印西市泉	藤本労働安全コン サルタント事務所 藤本 吟蔵 有限会社藤原造林 社長 藤原正志	安全講習 伐木、造材、搬出、 はい積研修
森林経営管理 制度円滑化対 策研修	森林経営管理法の施行 に伴う森林経営管理制 度の円滑な導入と運用 を図るため、市町村の 森林・林業担当職員に対 し適切な指導・助言等の 支援ができる技術者の 育成。	林業普及指 導員他	2 人 (1 人)	R2.11.24 ~26	栃木県宇都 宮市	林野庁 森林総合研究所 他	・森林経営管理制 度の概要と現状 ・経営管理権集積 計画の作成 ・制度運用のため の優良民間業者 との意見交換 ・先進市町村の取 組事例 ・市町村森林経営 管理事業のため の森林施業 他
チェーンソー 特別教育	チェーンソーの安全な 取扱い方法を習得し、森 林所有者や事業者への 安全指導に役立てる。	林業普及指 導員他	4 人 (3 人)	R2.12.14 ~16	千葉県林業 サービスセ ンター	千葉県森林組合職 員	チェーンソー講 習
東京大学千 葉演習林現地 見学	早生樹の植栽環境と成 長の状態、天然モミ・ツ ガ林の環境についての 見学と現地検討を行い、 スギ、ヒノキ、マツ以外 の樹種の適地について の知見を深め普及指導 活動に活かす。	林業普及指 導員 他	9 人 (7 人)	R2.12.21	東京大学 千葉演習林	東京大学 久本 洋子	早生樹(コウヨウ ザン)、モミ、 ツガ林の見学、現 地検討会
刈払機作業 安全衛生教 育	刈払機の安全な取扱い 方法を習得し、森林所有 者や事業者への安全指 導に役立てる。	林業普及指 導員他	5 人 (4 人)	R3.1.8	植畑研修セ ンター	植畑研修センター 職員	刈払機講習会
山武市大径木 林及び若齢早 生樹(コウヨ ウザン)現地 見学	山武地域大径木林と若 齢早生樹林の知識を深 め、普及指導活動に活か す。	林業普及指 導員他	13 人 (8 人)	R3.1.14	山武市埴谷 地先	-	・若齢コウヨウザ ン林の観察及び 現地検討会 ・山武地域大径木 スギの見学及び 現地検討

広葉樹林化及びヒノキ天然更新に関する研修	低コスト広葉樹林化及び、ヒノキの天然更新に関する最新の研究成果に触れ、普及指導活動に活かす。	林業普及指導員他	8人 (3人)	R3.1.25	森林総合研究所	森林総合研究所 星野 大介 酒井 武	・低コスト広葉樹林化に関する最新の知見ヒノキの天然更新に関する最新の知見 ・苗畑・樹木園等施設見学
----------------------	--	----------	------------	---------	---------	--------------------------	--

()内は内数で林業普及指導員の出席者数

(6) 千葉県指導林家・林業士認定状況

(単位：人、令和2年3月31日現在)

地区名	指導林家	林業士	計	備考
千葉	8	3	11	女性2名(林業士)
東葛飾	1	1	2	女性1名(林業士)
印旛	5	4	9	
香取	2	5	7	
海匝	1	1	2	女性1名(林業士)
山武	9		9	女性2名(指導林家)
長生	7	2	9	
夷隅	7	2	9	女性1名(林業士)
安房	7	1	8	女性1名(指導林家)
君津	7		7	
計	54	19	73	女性8名

(7) 林業機械・器具の現況

番号	機械種名		備考	単位		
					地方公共団体	学校
1 - 1	索道	索道重量式		セット		
1 - 2		索道動力式		セット		
2 - 1	集材機	小型集材機	動力10ps未満	台		
2 - 2		大型集材機	動力10ps以上	台	2	
3	モノケーブル		ジグザク集材施設	台		
4	リモコンウィンチ		リモコン、ラジコンによる可搬式木寄せ機	台		
5	自走式搬器			台	2	
6	モノレール		懸垂式含む	台		
7 - 1	運材車		動力20ps未満のもの	台	4	1
7 - 2			動力20ps以上のもの	台	1	
8 - 1	ホイールタイプトラクタ		林内で集材等の作業を行うホイールタイプのトラクタ	台		
8 - 2	クローラタイプトラクタ		上記でクローラタイプのもの	台		
9	育林用トラクタ		主として地拵え等の育林作業用	台		
10	フォークリフト			台		
11	フォークローダ			台		
12 - 1	クレーン	運材機能なし	トラッククレーン、ホイールクレーン等	台		
12 - 2		運材機能あり	クレーン付きトラック	台		1
13 - 1	グラップル	運材機能なし	グラップルローダ作業車	台		
13 - 2		運材機能あり	グラップルローダ付きトラック	台		
14	トラクタショベル		搬出、育林用等に係わる土工用	台		
15	ショベル系掘削機械		搬出、育林用等に係わる土工用	台	1	1
16	チェーンソー			台	40	10
17	チェーンソー装置		リモコンチェーンソー架台	台		
18	刈払機		携帯式刈払機	台	29	8
19	植穴堀機			台		
20	動力枝打機		自動木登り式	台		
21			背負い式等の上記以外のもの	台	2	
22	苗畑用トラクタ			台		
23	樹木粉碎機		伐倒木、伐根、枝条等を粉碎する機械	台	1	
24	フェラーパンチャ		立木を伐倒、集積する自走式機械	台		
25	スキッド		牽引式集材専用のトラクタ	台		
26	プロセッサ		枝払い・玉切りする自走式機械	台		
27	ハーベスタ		伐倒・枝払い・玉切りする自走機械	台		
28	フォワーダ		積載式集材専用車両	台		
29	タワーヤーダ		元柱を具備した自走式機械	台	2	
30	スイングヤーダ		簡易索張方式に対応し、かつ旋回可能なブームを装備する集材機械	台		
31	その他の高性能林業機械		従来の高性能林業機械上記7機種以外の高性能林業機械	台		
32	グラップルソー		巻立・玉切り自走式機械	台	1	

注) 対象の林業機械は、主として伐採、搬出、育林に使用されるもの。(製材工場で使用されるものは含まない。)

(令和2年3月31日現在)

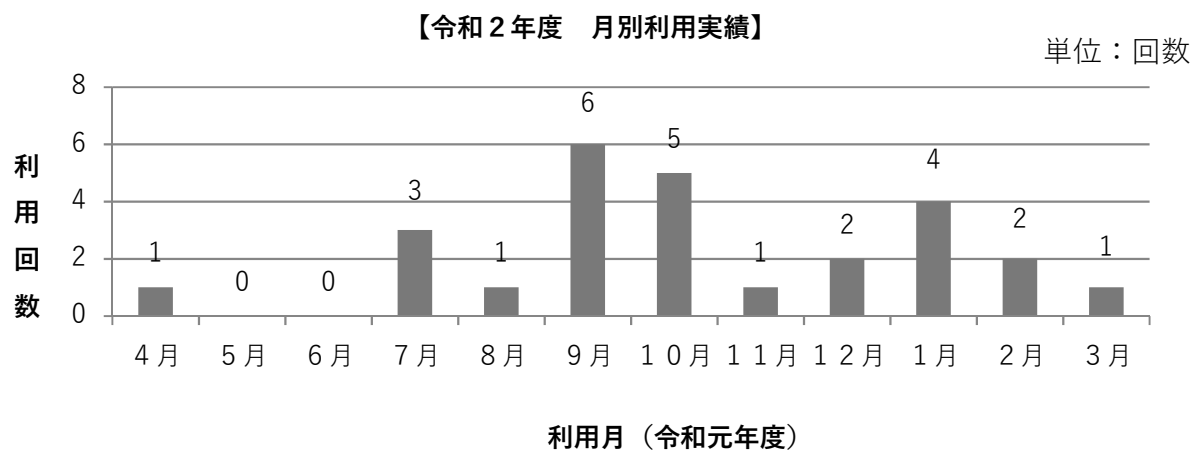
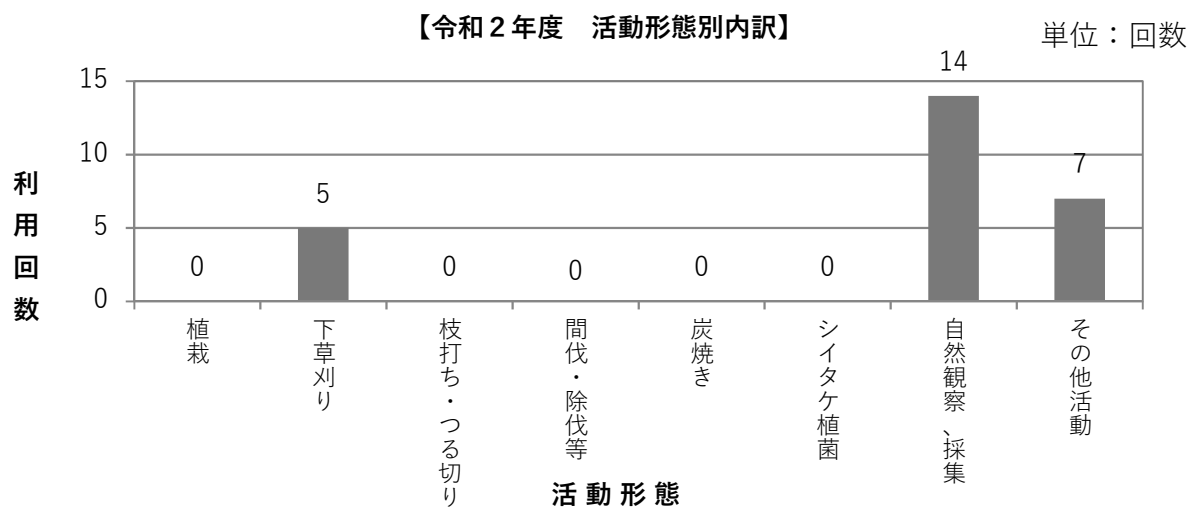
所 有 区 分 別 数 量							
会社	森林組合	その他組合等		集落	研究機関	個人	合計
		支援センター	その他				
3	1		1				5
17			1			9	27
20	1						23
						7	7
			2			2	4
	1		1				4
7	1					49	62
7	1						9
1							1
9	8		1		1		19
	1						1
2			1				3
12	3		3				19
11	2						13
2	1						3
38	16		2				58
402	26	10	47		11	166	712
328	24	10	30		11	143	583
36					1		37
	1		2		1	21	25
	2						4
1					2		3
20	2		1		1		25
2							2
3	1		1				5
3	2						5
1	3						4
							2
1							1
20	3		1				24
9	1						11

(8) 令和2年度教育の森の利用状況

地域	利用回数			利用人数		
	学校の利用	その他の利用	計	学校の利用	その他の利用	計
千葉 (うち市原市)						
東葛飾						
印旛	0	6	6	0	239	239
香取						
海匝						
山武						
長生	0	1	1	0	450	450
夷隅						
安房						
君津	19	0	19	361	0	361
計	19	7	26	361	689	1050

注1) 学校の利用は主として授業時間での利用

注2) その他の利用とは注1) 以外の利用を指す



(9) 教育の森の認定数

地域		年度別認定数									
		H5～H10	H15	H20	H25	H27	H28	H29	H30	R01	R02
千葉	計	26	12	11	11	11	11	11	9	9	7
	うち新規	13									
	うち再認定	4	3	3	3	2	2	1	1	3	
(うち市原市)	計	10	4	3	3	3	3	3	3	3	2
	うち新規	5									
	うち再認定	1				1	1			1	
東葛飾	計	8	5	5	4	4	4	4	4	3	3
	うち新規	4	1								
	うち再認定	2	2	3	1			1	1	1	
印旛	計	32	14	17	11	11	12	12	8	8	8
	うち新規	16					1				
	うち再認定	5	4	12	11				7		1
香取	計	26	13	10	5	5	5	5	4	4	4
	うち新規	13	1								
	うち再認定	4	6	4	4	1			3		1
海匝	計	18	10	5	2	2	2	2	2	2	2
	うち新規	9	1								
	うち再認定	3	3	1			1	1			
山武	計	28	15	16	12	12	11	11	11	8	8
	うち新規	15	1								
	うち再認定	4	5	5	3		3	1	3	2	
長生	計	32	14	15	10	9	9	9	8	7	7
	うち新規	16		1							
	うち再認定	5	4	4	4		2		3	2	
夷隅	計	15	7	4	2	2	2	2	2	2	2
	うち新規	8									
	うち再認定	1	1					2			
安房	計	30	14	10	7	7	7	7	7	7	6
	うち新規	15									
	うち再認定	5	4	3	3	1			3	3	
君津	計	34	20	19	17	14	14	13	13	10	9
	うち新規	18	1								
	うち再認定	4	6	5		2	3	4		1	
計	計	249	124	112	81	77	77	76	77	60	56
	うち新規	127	5	1	0	0	1	0	1	0	0
	うち再認定	37	38	40	29	10	11	10	11	12	2

注) 再認定については、認定期間の終了日が属する年度の実績とする。

(10) 教育の森の利用実績の推移

地域	年度別利用回数										年度別利用人数									
	H5～H19	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	H11～H19	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
千葉	739	90	52	66	52	9	12	3	1	0	4,520	576	722	907	854	190	243	51	51	0
(うち市原市)			40	55	41	0	0	3	0	0			481	616	613	0	0	51	51	0
東葛飾	50	13	31	23	23	21	21	0	7	0	1,269	160	446	430	367	317	305	0	0	0
印旛	98	4	0	0	0	2	12	10	9	6	8,949	277	0	0	0	132	378	327	327	239
香取	33	7	0	0	0	0	0	0	0	0	973	252	0	0	0	0	0	0	0	0
海匝	26	6	11	4	4	1	0	0	0	0	476	192	328	95	94	32	0	0	0	0
山武	179	14	2	2	1	1	1	1	2	0	4,869	388	23	21	7	6	11	9	9	0
長生	110	26	22	17	0	2	1	1	1	1	3,643	540	192	148	0	415	396	449	449	450
夷隅	87	13	6	11	13	12	14	10	0	0	10,078	1,231	325	208	340	307	116	92	92	0
安房	66	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1,026	56	0	0	0	0	0	0	0	0
君津	724	58	40	42	39	67	65	80	38	19	36,312	2,707	1,372	988	1,357	1,677	1,501	2,259	2,259	361
計	2,112	238	164	165	132	115	126	105	58	26	72,115	6,379	3,408	2,797	3,019	3,076	2,950	3,187	3,187	1,050

注) 平成10年以前の利用人数はデータがなく不明。